

新年のご挨拶



ウサギ年、2023年があけました。変異するウイルスとの戦いは4年目になる。全国で一日の死者は、300人とか400人を超える日もある。最近は何でか数字・統計を発表しなくなったが、一日の死者は世界一だろう。

とくに、この大阪は死者総数は7124人(昨12<29現在)と人口1.8倍の東京の6734人(昨12<29)より多く、日本一の死者を出している。もっと科学的で合理的なウイルス対策・医療政策がもとめられている。

今の日本。社会のピンの蓋がとれたとか、社会の底がぬけたとかいわれている。「新しい戦前」が始まるとかもいわれはじめた。殺し殺された、血みどろの体験した戦前生まれがほぼおらなくなってきた、脳天気な戦争好きな政治家や死の武器商人が動き始めている。しかし土台の社会は、人口減少で子供・若者は育たず、超高齢化社会。

食糧・光熱費、すべて 物価高。4月からはJRなど交通費も全て上がるインフレ社会に突入している。

日本銀行は長期金利の変動幅を0.25%から0.5に拡大し、金利上昇に舵を切ったようだ。4月には新総裁になり変化は目に見えるようになるのだろう。4月9日、4月23日は統一地方選挙になります。底が抜けて底が無くなった日本社会。うかうかしていると命をとられるかもしれない。しっかりと生き抜く戦いが必要です。

元旦から大阪府警前で労働組合弾圧に抗議する集会があり、代表参加してきました。2023年1月5日

あけましておめでとうございます

あたらしい年。労働市場が開き
ました。でも日雇い現金の仕事
はまだまだ。戎さんがすむまで
間がありそうです。
バブルの崩壊以降。長期の不況の
連続で「国力の衰退」を続ける日
本。「戦後民主主義」をすてて軍
拡で活路を求めろる愚行にはしろ
うとしています。

私たちの組合は、1969年の
結成以来、日雇労働者の権利を
守る活動を続けて54年目を
迎えます。まだまだ解決されな
い課題が一杯残っています。微力
ですが運動を
つづけます。



2023(令和5)年1月5日(木)

日刊「大阪城」14320号

全日本港湾
労働組合

建設支部西成分会

電話 06-6647-4947
大阪市西成区萩之茶屋
3丁目2-6